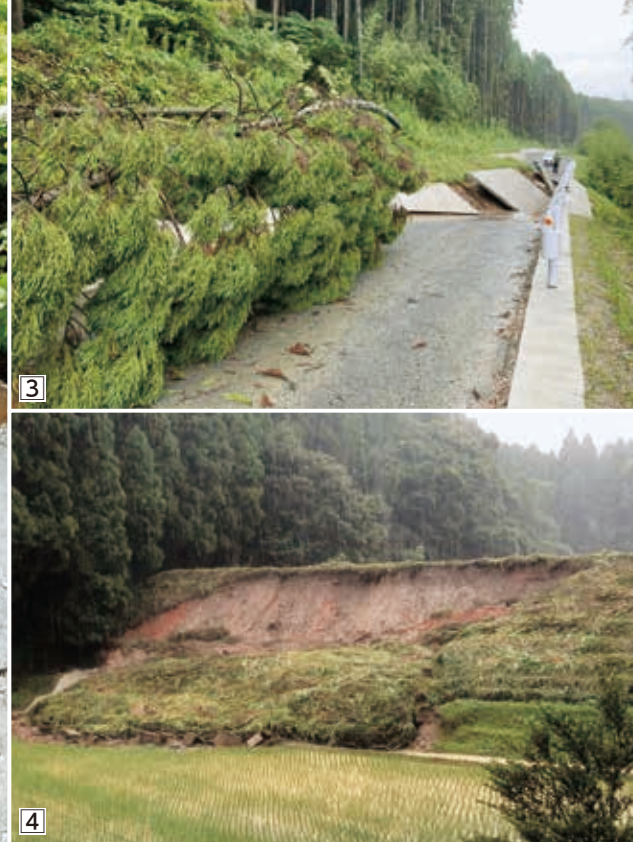




「避難勧告」発令

豪雨の影響で、町内各地で土砂崩れや道路の冠水など多くの被害が発生しました

7月6日の未明から10日の深夜まで降り続いた猛烈な雨。熊本県南部にあった梅雨前線が、九州を北上して線状降水帯となって停滞したために豪雨をもたらしました。平年の7月1カ月の2倍を超える雨量を5日間で記録。豪雨が和水町を直撃しました。

7月6日午後3時40分、10日午後3時、町内全域に「避難勧告」を発令。直ちに避難するよう住民に呼びかけました。6日午後4時、10日午後3時、中央公民館、旧菊水西小学校体育館、旧菊水東小学校体育館、旧菊水南小学校体育館、三加和公民館、春富集会センター、スカイドーム20000の7カ所に避難所を開設。住民約170人が避難しました。

この豪雨の影響で、町内各地でがけ崩れ、道路の冠水、床上床下浸水などの被害が発生しました。幸い人的被害はありませんでしたが、米、いちご、なすなどの農作物などにも甚大な影響を及ぼしました。



- ① 中和仁西山で発生した土砂災害 ② 県道玉名山鹿線が冠水し、立往生する車 ③ 町道内田吹野線の杉の倒木。町内の至る所で倒木があり、通行止めになった。 ④ 下津田のため池で発生した地すべり。土砂が田をのみこんでいる。 ⑤ 町道坂本山上線、道路が崩壊 ⑥ 西山川の大平橋下流付近で、濁流が岸を洗う。 ⑦ 冠水し、ため池のようになった農地に取り残された車（内田）。 ⑧ 住家に押し寄せた土砂 ⑨ いちご栽培ハウスの浸水。棚に残留流木がたくさんある。